

# 元気印

## ヤマト住建

### 安全にこだわる家

神戸、大阪を地盤に、東京にも進出している住宅会社だ。西津昌広社長(49)は「写真」は「安心して暮らせる家を建てたい」と話す。約200人の死者を出した1961年の



第2室戸台風を、大阪府八尾市の実家で5歳の時に経験した。猛烈な風雨で停電し、家族が身を寄せ合った不安な一夜。「あんな思いはもうしたくない」という思いが原点だ。

高校卒業後から営業マンをしていた住宅販売会社を辞め、妻の明美さん(47)と、神戸で不動産仲介業を始めた。元手は貯金200万円だけ。事務所は喫茶店の奥の一間を借りた。「苦勞をかけた女房には今も頭が上がらない」という。

会社が軌道に乗った92年から、注文住宅の販売を始めた。当初から地盤調査を行い、通常より太い柱を建てるなど、災害に強い家こだわった。95年の阪神大震災では、手がけた家は

1軒も倒壊しなかった。主力商品の「木の家オアシス」は天然木材を使い、壁面や床にも、シックハウスの原因物質を含む処理剤や溶剤を一切使わない。アトピー性皮膚炎の子供を持つ女性の「健康に配慮した家を」との相談がきっかけで、2001年に生まれた商品だ。

【設立】1990年1月  
 【資本金】3億1900万円  
 【2004年12月期決算(単体)】  
 売上高119億8800万円、経常利益3億7600万円  
 【従業員】54人  
 【本社】神戸市中央区八幡通  
 【ホームページ】<http://www.yamatojk.co.jp/>

従来の建材を一から見直し、厚生労働省が示す基準の13分の1しか原因物質が出ないようにした。販売も好調で、翌年には、マンションの販売にも乗り出した。安全へのこだわりは、「万人に喜びを」という経営理念とつながっている。